

図23 汐汲みの仕掛け (奥民図彙90頁より)

挿図(図23)の注記 左側  
 塩浜塩ヲクムカケ<sup>とい</sup>樋  
 海ヘトヒヲシカケ  
 ハ子釣瓶ニテクミ入ルナリ  
 海塩ヲ直ニシホ  
 釜ニ入ル、ナリ  
 此トイハ  
 幅三・四尺ノ杉ノ木ヲ割  
 中ニ溝ヲ彫<sup>ほり</sup>テ用<sup>もち</sup>エ  
 長サニ拾間位  
 遠近ニヨリテ<sup>つぎもち</sup>継用ユ

右側 大意  
 塩浜には塩水を汲む掛け樋を海中に延ばして  
 汐汲みの仕掛けが(準備され)ている  
 「はねつるべ」で海水を汲み、樋に入れる  
 海水を直にそのまま塩  
 釜に入れている  
 この樋は  
 幅約90~120cmの杉の木を割って、  
 中に溝を彫ったものが使われ  
 長さは約36mくらいで(仕掛けから塩釜まで)  
 距離に合わせて(樋の)継ぎ方を加減して用いる

鹽釜ハ土ニテ作ルモアリ又銅或  
 錢釜其處ニヨツテサマサマアリ  
 何モ大キサ九尺ニ六尺計ナリ  
 燒木ハ柴ヲ不燒大キナル  
 薪ヲ燒ナリ  
 今別磯松兩所ノ  
 濱ニテ所見

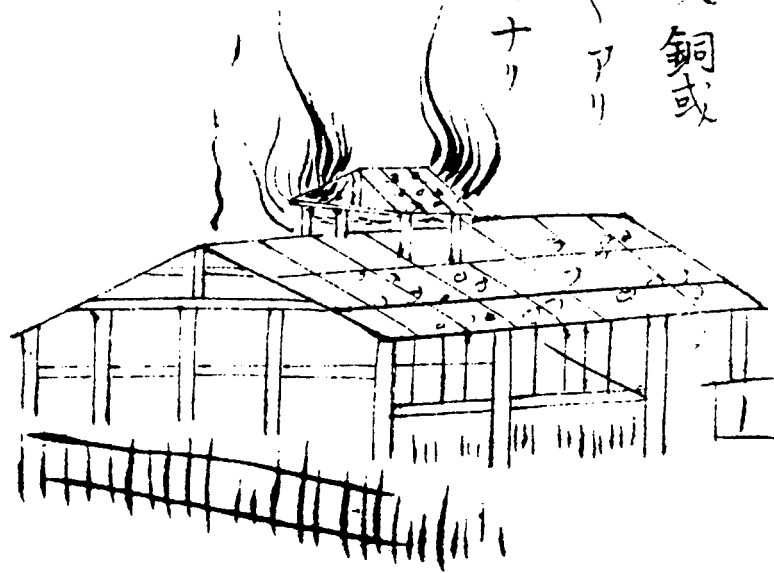


図24 塩釜小屋

(奥民図彙91頁より)

挿図(図24)の注記 左側

鹽釜ハ土ニテ作ルモアリ 又銅或

錢釜其處ニヨツテサマサマアリ

何モ大キサ九尺ニ六尺ばかり計ナリ

(樞木)燒木ハ柴やかずヲ不燒大キナル

薪ヲ燒ナリ

今別、磯松兩所ノ濱ニテ所見

右側 大意(省略)

九尺は約270cm、六尺は約180cm。(これは釜の直径であろう)